

公益社団法人愛知県医師会 第39回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年3月27日(木) 午後2時40分～午後4時40分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一

城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕 西山 朗 樫尾 富 二

松尾 清 一 伊藤 富 士 子 瀨 瀨 雅 明 細 川 秀 一

監事／加藤 茂 岩瀬 敬 紀

代議員会議長／杉田 洋 一

代議員会副議長／藤原 誠 治

欠席者

理事／樋口 俊 寛 監事／丹羽 巽

議事録作成者 横地 宏 和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

人事に関する協議事項6については、会の最後に市川理事より説明され、協議を行った結果、承認された。(人事関係議題については事務局長、事務局次長のみ同席した)

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

- ①愛知県、公益社団法人愛知県看護協会主催の平成26年度「看護の日」及び「看護週間」〔5/11(日)～5/17(土)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

- ②第66回西日本医科学学生総合体育大会(会長 山本 健：金沢大学医学類長)の行う第66回西日本医科学学生総合体育大会〔8/1(金)～8/18(月)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

- (2) 株式会社 NHK エンタープライズ(代表取締役社長 今井 環)主催のフォーラム「がん
と生きる～こころとからだ 私らしく～」〔6/1(日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。
- (3) 藤田保健衛生大学(医学部長 辻 孝雄)の行う平成 26 年度医学部 4 学年「地域医療・
安全管理」の講義への講師派遣について
市川理事より説明があり、柵木会長、稲坂理事、吉田理事を講師に派遣することが承
認された。
- (4) 愛知医科大学非常勤講師の委嘱について
市川理事より説明があり、大輪理事を非常勤講師に委嘱することが承認された。
2. 平成 25 年度愛知県救急医療情報センターの委託契約変更について
稲坂理事より説明があり、費用区分を組み換え委託契約をすることが承認された。
柵木会長、伊藤(健)理事より、予め人件費が増えることが予想されるのであれば、
計画の段階で予算立てすべきではないかと発言された。
柵木会長より、愛知県の状況を確認し今後は人件費の増加を考慮した予算を立て
るよう依頼された。
3. 健康情報ポータルサイト(仮)の構築について
吉田理事より説明があり、平成 26 年度より健康教育活動推進事業において、県民
へ健康情報を伝達するツールとして「健康教育ポータルサイト(仮)」を構築する
ことが承認され、また、相見積もりの結果、株式会社中日アド企画へ制作を依頼
することも承認された。
4. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会委員の変更について
大輪理事より説明があり、整形外科領域専門委員の原田敦先生(国立長寿医療セン
ター)と、研究者として参加いただいている、杉岡篤先生(藤田保健衛生大学病院)
の後任として4月1日より、荒木聰先生(豊田厚生病院)、鈴木達也先生(藤田保
健衛生大学病院)を委員として委嘱することが承認された。
5. 愛知県警察医会の運営に係る業務委託契約について
細川理事より説明があり、愛知県警察医会との委託契約が承認された。

—協議事項—

6. 愛知県医師会立名古屋助産師学院の人事異動及び教務職給与改正について
会の最後に協議。
7. その他
・新たな財政支援制度について

伊藤（健）理事より、「新たな財政支援制度にかかる都道府県担当者会議」の資料を元に説明され、地区医師会へ「新たな財政支援制度対象事業」の提案依頼及び、ご自身が作成された3つの提案を愛知県へ提出することが承認され、また、役員へも4月中に事業の提案をして頂くよう依頼された。

柵木会長より、地域医療支援センターへの対応も含め協議する必要があるので、次回以降の理事会にて「新たな財政支援制度」について説明をするよう伊藤（健）理事へ依頼され、その後に本会の提案を検討すると発言された。

—報告事項—

1. 地域医療連携のための有識者会議〔3/24(月)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

柵木会長より、地域医療連携のフォローアップ指標については、地域医療再生基金での事業効果を表したものであり、救急対応診療科の医師数、救命救急センターの受け入れの状態、重症者の受け入れ体制、たらい回しの数、救急搬送における病院までの搬送時間の指標が出されたが、休日診療所の整備等、指標として表せない事業もあると報告された。

松尾理事より、地域医療再生基金事業において愛知県はモデル地域と言われており、指標を設けていない県が多い中、愛知県は指標を設けている。休日診療所、中核病院の受診者は大幅に増加し、3次医療機関の負担は軽減され、目標に近づいていて、全体としても前向きに改善していると発言された。

伊藤(健)理事より、地域救急医療学寄附講座が救急医療にどの程度寄与したか判断することは難しいが、指標として救急医療従事者の数も示して欲しいと要望された。

2. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔3/24(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

柵木会長より、医科の新規機関は22機関あり、一部を除いては特筆するところはないと報告された。

3. 愛知県医療審議会〔3/26(水)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

柵木会長より、愛知県医療圏保健医療計画の変更及び、医療審議会の組織見直しについて承認され、報告事項では、各部会の審議状況について報告があり、この各部会は本年8月から新しい組織になると報告された。

伊藤副会長より、医療法人部会には新規の医療法人のみ議事に出てくると発言され、柵木会長より、その他の医療法人も議事に出すよう県へ働きかけをするよう回答された。

4. 愛知県医療審議会医療対策部会〔3/24(月)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

山本副会長より、「医師派遣等推進事業に係る医師派遣について」、「へき地医療対策協議会の廃止等について」、「医療審議会の組織見直しについて」議論された内容の報告をされ、報告事項「平成26年度救急医療、災害医療、へき地医療、地域医療関係予算について」は、資料を配付してあるので参考にして頂くよう発言された。また、地域医療支援病院の紹介率、逆紹介率に関連して、有所見者が健診結果を医療機関に持参し受診した際の紹介状の取扱いに関する発言をしたと報告された。

樫尾理事より、健診結果だけでは紹介先の医療機関を指定していないので紹介状

として扱うことは難しいと発言された。

伊藤（健）理事より、医療機関を特定してあれば紹介状になると発言された。

5. マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知 2014〔3/9(日)〕について

(マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知実行委員会主催・ナゴヤドーム 他)

稲坂理事より、医療スタッフ総勢 1,020 名が参画し、うち、救護スタッフ医師 17 名（うち、2 名愛知県医師会）、で救護所において傷病者の治療等を行った。救急医療情報センター職員は、ナゴヤドーム横に設置された医療統括本部にて、タブレット端末を使用して入力された各救護所の傷病者数を逐次把握し、入力情報に不備もしくは異常なデータが発見されれば、該当救護所に確認、修正し、医療救護活動を支援したと報告された。

6. 平成 26 年度愛知県・碧南市津波・地震防災訓練第 1 回総合会議〔3/12(水)〕について

(愛知県・碧南市主催：碧南市役所)

稲坂理事より、本年度の訓練は、8 月 31 日(日)に碧南市の玉津浦グラウンドをメイン会場とした他、数か所の施設で実施することとなった。今回の訓練テーマは、「まずは自助から！～つなげよう 深めよう 地域の絆～」である。本会として、メイン会場で実施される医療救護活動に参加予定であると報告された。

7. 平成 25 年度第 2 回愛知県小児救急電話相談事業運営協議会〔3/18(火)〕について
(愛知県主催：自治センター)

稲坂理事より、事務局から平成 25 年 4 月から平成 26 年 2 月の対応件数等についての報告があった。続いて、愛知県での小児救急電話相談対応時間である 19 時から 23 時の延長についても意見交換が行われたが、対応時間を 24 時間体制にすると現在の 1.5 倍程の予算措置が必要になるため、前向きに再検討とすることになった。他には情報センターの運用実績から、特に小児科の需要について報告が行われたと報告された。

柵木会長より、外部委託を開始してからの相談対応の質について質問され、稲坂理事より、質を精査して業者へその都度要望を出していると発言された。

8. ドクターヘリ運航調整委員会並びに運航調整実施部会〔3/20(木)〕について
(愛知県ドクターヘリ運航調整委員会主催：東京第一ホテル錦)

稲坂理事より、昨年と平成 14 年導入以来の運航実績について、愛知医科大学病院フライトドクターの三木先生から報告があった。続いて航空法施行規則第 176 条の改正に伴うドクターヘリの運航について、愛知県健康福祉部医務国保課より改正の概要、趣旨について説明があった。他には、出動キャンセル事例の説明等があったと報告された。

9. 愛知県医師会立名古屋助産師学院卒業式〔3/12(水)〕について
(愛知県医師会立名古屋助産師学院主催：9階大講堂)
可世木理事より、卒業者は19名で、全員国家試験に合格していると報告された。
10. 愛知医療労働企画委員会〔3/19(水)〕について
(愛知労働局主催:KKR ホテルナゴヤ)
市川理事より、議事「平成26年度医療労務管理相談コーナー事業について」に関して、医療勤務環境改善支援センター(仮称)の内容について説明された。
11. 健康教育講座〔3/13(木)〕について
(愛知県医師会主催：中区役所ホール)
吉田理事より、「花粉症治療の最前線」として、名古屋市立大学耳鼻咽喉科准教授鈴木元彦先生にご講演いただき、117名の参加があったと報告された。
12. 特定健康診査・特定保健指導講習会〔1/24(金)・1/31(金)・2/21(金)・2/28(金)・3/14(金)〕について
(愛知県医師会主催：津島市文化会館・ホテルプラザ勝川・ホテルアソシア豊橋・名鉄トヨタホテル・中日パレス)
城理事より、特定非営利活動法人健康情報処理センターあいちの三浦真喜子管理栄養士を講師に「返戻とならない特定保健指導請求書の作成方法」と題して、特定保健指導におけるNPOあいちのOCR用紙を用いた指導の組み立て方、記入法についての講習を行った。なお、参加者数については、既に本会理事会にて報告済の12月3日開催分も含めて合計で105名であったと報告された。
13. 平成25年度 愛知県たばこ対策推進会議〔3/18(火)〕について
(愛知県主催：自治センター)
城理事より、平成25年度は、世界禁煙デーの5月31日に名古屋駅前にて、禁煙啓発キャンペーンが行われ、本会も参加したことにより、参加団体に本会が掲載されることになった。平成26年度も5月31日に金山駅にて行う予定。子供の頃からたばこの害を教育したり、妊婦へ母子手帳発行時に禁煙を呼びかけたりしていることの報告があった。また禁煙を行うことにより、ポイントを付与し協賛加盟店などでサービスを受けられるなどのアイデアも提案されたと報告された。
14. 日本医師会第5回定款・諸規程検討委員会〔3/13(木)〕について
(日本医師会主催：日医会館506会議室)
樫尾理事より、新公益法人移行に伴い更なる組織強化に向けた方策で答申書を作成することになりその検討を行った。その中で、日本医学会の法人化に関しては、「日本医学会連合なる法人が新たに設立されたのちも、日本医師会と日本医学会は決して分離することなく、良き伝統と信頼のなかで育まれた相互理解と尊重に基づく連携をより一層強化するとともに、その協働している姿を広く国民に発信して

いくよう、本委員会として強く要望する。」という答申内容とし、また、理事枠については、勤務医、女性医師の役員登用に関しては、「現行の『理事 27 名以内』を『理事 29 名以内』に改正する」ということになったと報告された。

伊藤（健）理事より、勤務医の選び方について質問され、榎尾理事よりまだ決まっていないと回答された。

1 5. 平成 26 年度診療報酬改定に伴う集団指導〔3/19(水)・20(木)・21(金・祝)・22(土)・24(月)〕について

(愛知県医師会主催：名古屋市公会堂(3/19、20)・ウインクあいち(3/21、24)・ライフポートとよはし(3/22))

榎尾理事より、平成 26 年 3 月 19 日から 24 日まで 5 日間 6 回にわたり開催し、出席者は 4,700 名の予定数に対して 4,500 名であったと報告された。

1 6. 平成 25 年度第 3 回愛知県障害者施策審議会〔3/20(木)〕について

(愛知県主催：東大手庁舎)

榎尾理事より、本審議会は樋口理事が出席され、第 4 期愛知県障害福祉計画の策定については、第 4 期計画では平成 26 年度に平成 27～29 年度計画の策定を行う。基本指針に盛り込む個別分野の 7 項目について検討を行い、各委員の意見を集約する。1) 施設入所者の地域生活への移行、2) 入院中の精神障害者の地域生活への移行、3) 障害者の地域生活への移行、4) 福祉施設からの一般就労への移行、5) 支援の質の向上、6) 計画相談支援、7) 障害児支援について各代表よりそれぞれの立場から要望が出されたと報告された。

1 7. 女性医師確保に係る委員会〔3/19(水)〕について

(愛知県主催：東大手庁舎)

伊藤（富）理事より、式次第に沿って議事が進められ、平成 26 年度に実施が予定されている女性医師のキャリア形成に関するセミナー及び先進的な取り組み等を紹介する取組事例集の作成について、愛知県医師会が積極的に協賛していくことを申し入れたと報告された。

1 8. あいち小児保健医療総合センター予防接種センター調査検討委員会〔3/11(火)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

瀧瀬理事より、「あいち小児保健医療総合センター予防接種センター平成 25 年度事業実績について」、予防接種を行っている名古屋市以外の 603 医療機関へのアンケート結果についての報告があり、そのアンケート結果について説明された。

1 9. 各種委員会・部会について

- A) 広報委員会〔3/12(水)〕について
(501 会議室)

吉田理事より、校正班分担の確認、トップ原稿、表紙作品について協議した。広告については1件を審査し、掲載了承したと報告された。

B) 共同施設委員会〔3/14(金)〕について
(501 会議室)

樫尾理事より、各臨床検査センターの現況について意見交換をし、第25回全国医師会共同利用施設総会について、平成25年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会についての報告を行ったと報告された。

C) 勤務医部会幹事会〔3/19(水)〕について
(801・802 会議室)

伊藤(健)理事より、愛知県勤務医師生活協同組合では、来年度通常総会の開催にあたり、30周年記念式典、講演会が予定されていることを報告。医師募集枠、マッチング率、愛知県の有識者会議での説明内容等について意見交換を行ったと報告された。

D) 調査室委員会〔3/26(水)〕について
(5階医師連盟会議室)

加藤理事より、第170回臨時代議員会での協議内容について資料に基づき説明され、その内容を代議員会の報告として本会ホームページへ掲載し、中部医連関係にも送付予定。また、会員意識及び実態調査のクロス集計結果については次回委員会で説明する予定であると報告された。

20. その他

・会員相談窓口2012事例集について

大輪理事より、事例集を配付したので参考にして頂くよう発言された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年3月27日